

事業所名		放課後等デイサービスブーさんの家				支援プログラム		作成日		7 年		3 月		31 日	
法人（事業所）理念		全ての障害児が夢と自信を持ち、個々の特性を踏まえた上で、段階的に成長し、豊かな未来を自らの手で切り拓いていくことを目指します。													
支援方針		アセスメントを実施し、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」5領域におけるスキルの獲得を促し、家族支援・地域支援を地域と連携して行う。													
営業時間		10 時		00 分から		18 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり 事業所と学校間のみ			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	食事・睡眠・排泄・着替えといった基本的な生活習慣。体の清潔を保つこと、病気の予防や体調管理、安全への意識などが含まれます。これらのスキルは子供の自立や自信に繋がりと、生活の質の向上に直結します。具体的には自分で着替えができるようになる。好き嫌いなく食事ができるようになる。													
	運動・感覚	運動感覚の領域は体を動かすことや、周囲からの様々な感覚情報（見る・聞く・触る・バランスなど）を適切に処理することが関わります。歩く・走るといった粗大運動や、箸を使う・ハサミで切るといった微細運動、体のバランス、姿勢の維持、そして感覚統合（複数の感覚をまとめて理解する力）などが含まれます。これらの能力は学習や日常生活の様々な場面の活動の基盤です。													
	認知・行動	認知・行動の領域は、物事を理解したり、考えたり、感情や衝動をコントロールしたりする力に関わります。具体的には、記憶力・思考力・問題解決能力・集中力指示の理解・ルールの理解と遵守・感情の認識と表現衝動性の抑制・計画性などが含まれます。これらの能力は学習や社会生活において状況を判断し、適切に対応するために不可欠です。「順番を守って活動に参加できる」といった目標設定。													
	言語コミュニケーション	言語・コミュニケーション領域は、自分の考えや気持ちを伝えたり、他社からの情報を理解したり、する力に関わります。言語を理解する力（受容言語）・言葉で表現する力（提出言語）だけでなく、ジェスチャー・表情・視線といった非言語的コミュニケーション、そして相手の意図を読み取ったり、状況に応じた言葉遣いをしたりする社会的なコミュニケーションスキルも含まれます。これらの能力は他社との関わり、社会生活を送る上で最も基礎となる力の一つです。「～したい」と言葉で伝えられるようになる。友達の言葉を聞いて理解しようとするといった目標を設定し、絵カードの使用、SST、ロールプレイングなどの支援計画を計画します。													
	人間関係社会性	人間関係・社会性の領域は、他社と関わること、集団で適切に振舞うことに関わります。友達や家族との関わり方、集団活動への参加、協力すること、順番を守ること、感情の共有、共感する力、社会的なルールやマナーの理解と遵守などが含まれます。これらの能力は子どもが地域社会の中で他者と良い関係を築き、自分らしく生きていくために非常に大切です。個別支援計画では「友達と一緒に遊べる時間を増やす」「公共のマナーを身につける」という目標を設定し、集団活動への段階的な参加支援、ソーシャルディスタンス、ロールモデリングの支援方法を計画します。													
家族支援		ご家族と事業所の相互理解、気軽に相談できる環境づくり ・不安なく事業所を利用していただけるよう、随時情報交換やご相談を受け付け。 ・お子様のこと、家族のこと、学校のこと等様々な角度からの相談を受け付け適切な期間への紹介や学校へ直接情報共有に伺います。							移行支援		将来を見据え、次のステージにスムーズに繋げる ・保護者や他事業所、学校等各関係機関と情報共有を行います。 ・進路や時期施設の相談を受け付け、情報提供を行います。				
地域支援・地域連携		生涯学習フェスティバル、災害ボランティア、運営研修、境町心身障害父母の会、身体障害者福祉協議会、花いっぱい運動、BCP避難訓練等、絵手紙教室、いつわかいの踊り							職員の質の向上		毎日職員全員参加のミーティングを実施。午前にその日の支援内容を確認。夕方に振り返りをし、支援の質の向上に努めている。				
主な行事等		・合同イベント ・季節行事（節分、バレンタイン、ひな祭り、イースター、子どもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス、生涯学習フェスティバル 等） ・避難訓練（地震、火災、消火、水害） ・旅行（日帰り・宿泊）													